

2月定例記者会見要旨

定例記者会見を始めます。

本年は春一番を2月17日に記録しましたが、続く春二番の報道もつかの間、強風の日が続きました。春一番の日もそうでしたが、2月20日は最低気温2.2℃に対し、最高気温18℃となり、1日の気温差が20℃を超える日が2度もあるなど、体調管理がままならない「春の空」が続いています。

そんな中、年の瀬の52週目から続いていた竜ヶ崎保健所管内のインフルエンザ警報も、それ以来8期連続となっており、引き続き警戒が必要です。花粉症もたけなわの季節になりますが、風邪もいまだ蔓延しているなど、私も今シーズンは、秋から風邪が抜けない日々となっています。

手洗いうがいなどの予防はもちろん、記者の皆さんにおかれましては、体調管理を万全に「春の空」を乗り越え、引き続き取材活動にご活躍いただくことを願っています。

さて、市政においては、平成29年第1回龍ヶ崎市議会定例会が、3月2日木曜日、午後1時30分に本会議が開かれ、開会します。

「予算議会」とも言われる本定例会では、平成29年度当初予算（案）をはじめ、議案29件、諮問1件、報告3件を上程しています。

また一般質問も、16名の市議の皆様から通告が出されています。

平成29年度は、「第2次ふるさと龍ヶ崎戦略プラン」のスタートとなる年でもあり、力強く歩みを進めていく上でも、議員の皆様と議論を深めながら、市役所一丸となって、この議会定例会も政策推進の原動力としていかなければならないと考えてます。

それでは、本日の情報提供を始めさせていただきます。

はじめに社会福祉協議会からの情報です。

3月4日（土）、龍ヶ崎市文化会館において、第45回を迎える龍ヶ崎市社会福祉大会を開催します。

「みんなで地域福祉のまちを育てよう」をメインテーマとし、式典においては、社会福祉功労者、善行青少年、社会福祉事業協力者への顕彰や市内小中学校による標語の入選者表彰、事例発表などを行います。

また、式典終了後には、市内50か所以上で行われている「シルバーリハビリ体操」の実演。TBSテレビ「あさチャン！」コメンテーターとしてお馴染みの、流通経済大学スポーツ健康科学部教授、龍崎孝氏による基調講演があります。龍崎氏からは「やさしさも、きびしさも ～ニュースの裏側と記者の本音」と題し、コミュニケーションの大切さなど、普通では耳にすることができないをお話が聞けるのではないかと、楽しみにしています。

続いては、教育総務課からの情報提供です。

明治7年に開校、という歴史を誇る北文間小学校は、この4月から龍ヶ崎西小学校と統合することとなりました。それに伴い、北文間小学校の児童・保護者や北文間地区の地域の皆さんが、北文間小学校の142年間の長い伝統に思いを馳せながら、感謝の気持ちを持って閉校を迎えるため、3月24日金曜日、「北文間小学校閉校式典」が開催されます。

北文間小学校は、明治7年に「長興小学校」として、現在とは異なる場所に開校しましたが、飯塚古登さんの熱意や寄附などもあり、明治15年に現在の地に校舎が完成しました。北文間小学校の児童は、今でも、飯塚古登さんを「北文間の母」と慕い、毎年、古登さんのお墓参りをしてきました。

閉校式典では、北文間小学校の子ども達が、飯塚古登さんにちなんだ劇を披露する予定とのことで、こちらも楽しみにしています。

続いて、危機管理室からの情報提供です。

3月11日には、東日本大震災から6年を迎え、そして4月には、熊本地震の発生から1年を迎えようとしています。

当市は、東日本大震災の教訓、および熊本地震の被災地派遣職員の経験などをふまえ、「防災・減災日本一」を目指し、引き続き新たな取組みを進めてまいります。

まず1つめは、アレルギー対応粉ミルクなど「こどもの災害用備蓄品」を、それまでの市役所本庁舎での一括管理から、市内各地区の災害時活動拠点となる、13箇所 のコミュニティセンターに、備蓄内容を拡充のうえ、分散して配備することにより、災害時の「こどもの安全と安心」を速やかに確保する体制を新たに整備することになります。

2つめは、市の備蓄食に、調理用の水が不要で、すぐそのまま食べられる白米おかゆなどの「レトルトおかゆ」や、避難所生活で不足しがちな野菜を摂取することによる健康管理を目的に、「野菜缶ジュース」など、新たな備蓄品を導入しました。

これらの備蓄品は、危機管理室が、子育て中の男性職員の育児休業取得中、および日々の育児における“経験や気づき”などの意見を聞くことで、それらを参考に取り組みを進めていることをご報告いたします。

当市は、これまでの地震などの災害から得た教訓と経験、そして新たに男性職員の育児を通じて得た経験や気づきを反映することにより、更なる「市民の安心安全」と「子育て環境」の充実に努めてまいります。

続いては、資産管理課からの情報提供です。

当市では、「公共施設の更新問題」に、計画的、かつ組織的に対応するため、平成25年2月、茨城県内では初めて「公共施設再編成の基本方針」を定めました。これ以降、当市では、公共施設の面積や施設コストを縮小・削減しつつも、施設機能は強化・充実させるという「縮充」に向けて、積極的に取り組んできているところです。

この度、当市では、新たに龍ヶ崎市公共施設再編成の、第2期行動計画を策定いたしました。この行動計画では、公共施設の延床面積6割を占める小中学校をはじめとした49施設について、施設の統廃合や利用形態の変更など、縮充による再編成計画を立ててまいります。また、新学校給食センター、新保健福祉施設など5施設につきましては、これまでの再編成の取組に基づき、事業化に向け検討を進めていくこととなります。

以上で本日の、私からの情報提供を終わりとさせていただきます。

詳細については、このあと担当から説明させていただきます。